

現代日本の夢に関する調査結果

睡眠文化研究所

夢から連想される単語

オリジナルリサーチ

－「夢」に関するアンケート－

私たち現代の日本人にとって、夢とはいったいどんなものなのでしょう
うか。睡眠文化研究所では、「夢」という語から連想される単語を
答えていただきました。その結果のデータから、私たちが誰でも日々
体験する睡眠中の行動を、医学・科学とは少し違った視点から考え
てみました。

2003年12月～2004年1月

ホームページ上

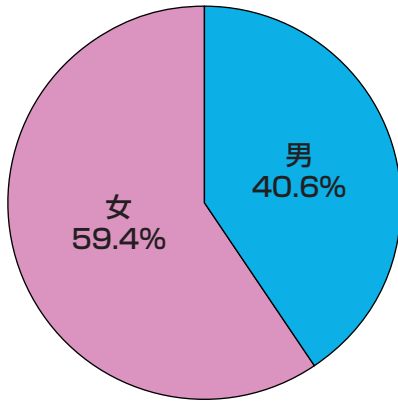
有効回答数：471件

目次

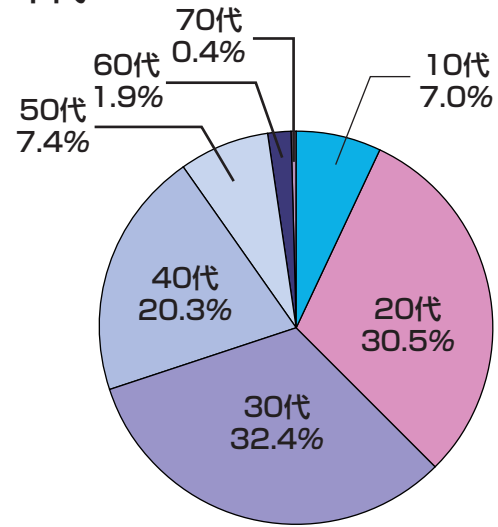
1. 回答者の属性
2. 夢から連想される単語Top 10
3. 夢の男女差
4. 年代差
5. 夢の語源
6. 夢の移り変わり、これからの夢

1.回答者の属性

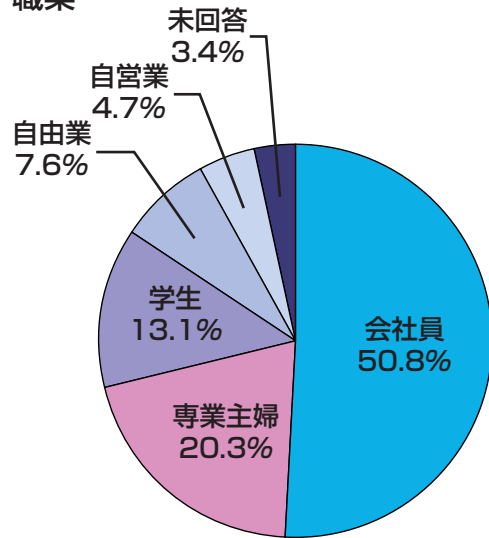
性別



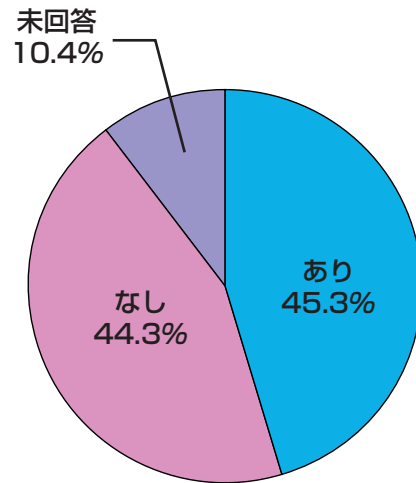
年代



職業



配偶者



2.夢から連想される単語 TOP 10

1.	希望	28.5%
2.	未来	12.3%
3.	睡眠（眠り）	8.7%
4.	初夢	6.6%
4.	実現（叶える）	6.6%
6.	正夢	5.1%
7.	現実	4.9%
8.	摸	4.7%
8.	将来	4.7%
10.	空	4.0%

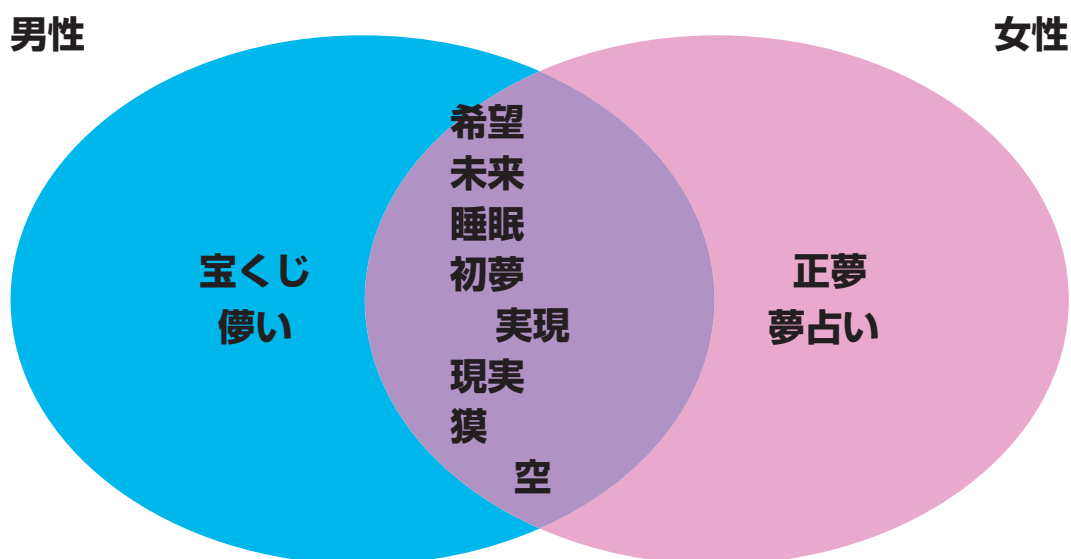
3.夢と性差

- ・男性の回答に上がった「宝くじ」は、具体的な将来の夢に関する単語が少ない中で、回答が集まったのが宝くじだけでした。「万馬券」や「億万長者」という回答も、ほとんど男性から寄せられていました。
- ・一方、「正夢」と「夢占い」が女性に多く見られたのですが、女性誌には必ずといっていいほど、占いのページがあり、ご存じのように占いファンの多くは女性です。しかし、これは現代に限っての傾向で、昔の日本では男性も公の場で夢を占っていた、という記述があります。古代から近世にかけて、夢は政治的な判断に使われていました。

夢から連想される単語 TOP10

男性	
1. 希望	26.2%
2. 未来	9.9%
3. 実現	7.9%
4. 睡眠（眠り）	6.3%
5. 宝くじ	5.2%
6. 現実	4.7%
7. 獏	4.2%
8. 将来	4.2%
9. 初夢	3.7%
9. 儂い	3.7%

女性	
1. 希望	29.6%
2. 未来	13.6%
3. 睡眠	10.4%
4. 初夢	8.6%
5. 正夢	7.1%
6. 実現	5.7%
7. 夢占い	5.4%
8. 現実	5.0%
8. 空	5.0%
10. 獏	4.6%



4.年代と夢

夢から連想される単語には、比較的プラスイメージのものが多いと思いますが、「悪夢」や「恐怖」といったものが、20代から現れてくるようなイメージがありました。夢から連想されるものとして導き出された単語の中には、「子供時代」や「若いころ」といった類のものが、約7%含まれていました。将来、実現したい願望としての夢をたくさん持っているのは、若者だという印象があるようです。小さいころのほうがよく夢を見ることがわかっていますが、将来の夢、夜見る夢、どちらの夢も若さがシンボルであるように感じます。

10代のTOP 10

1. 希望	33.3%
2. 未来	21.2%
3. 叶える	12.1%
3. 将来	12.1%
5. 睡眠（眠り）	9.1%
5. 星	9.1%
7. 猿	6.1%
7. 夢占い	6.1%
7. 雲	6.1%
7. 愛	6.1%
7. レム睡眠	6.1%

20代のTOP 10

1. 希望	25.0%
2. 睡眠（眠り）	11.8%
3. 未来	8.3%
4. 悪夢	7.6%
5. 正夢	6.9%
6. 初夢	6.3%
6. 猿	6.3%
7. 現実	4.9%
7. 夢占い	4.9%
7. 幸せ	4.9%

30代のTOP 10

1. 希望	27.5%
2. 未来	14.4%
3. 初夢	9.2%
4. 睡眠（眠り）	8.5%
5. 叶える	6.5%
6. 正夢	5.2%
7. 宝くじ	5.2%
8. 将来	4.6%
8. 快眠	4.6%

40代のTOP 10

1. 希望	31.3%
2. 未来	13.5%
3. 叶える	10.4%
4. 猿	6.3%
5. 初夢	5.2%
5. 空	5.2%
5. 宝くじ	5.2%
8. 睡眠（眠り）	4.2%
8. 現実	4.2%
8. 光	4.2%
8. 努力	4.2%

50代のTOP 10

1. 希望	25.7%
2. 現実	14.3%
3. 未来	11.4%
4. 睡眠（眠り）	8.6%
4. 正夢	8.6%
4. 空	8.6%
4. 悪夢	8.6%
4. 楽しい	8.6%
4. 恐怖	8.6%

5.夢の語源

・語源（語源辞典 名詞編より）

「寢目（いめ）」：「寢」は睡眠、「目」は見えるものの意。

・夢とは（広辞苑第5版より）

1. 睡眠中にもつ非現実的な錯覚又は幻覚。また覚醒中に起る同様な状態。
2. ぼんやりしたさま、はかないさま、頼みがたいさまなどにいう語。夢幻。
3. 心の迷い。迷夢。
4. 将来実現したい願い。理想。

夢の語源

もともと、「夢」は「いめ」と言われていました。「寢（い）」は睡眠、「目（め）」は見えるものの意味でした。平安時代から夢に転じていて、「はかなさ」などの意味でひゆ的にも用いられていたようです。「将来の希望」といった意味で使われ始めたのは、近代以降のこととされています。

広辞苑によれば、「夢とは睡眠中に持つ非現実的な錯覚または幻覚。また、覚醒中に起こる同様な状態。ぼんやりしたさま、はかないさま、頼みがたいさまなどに言う言葉。心の迷い、将来実現したい願い」となっています。広辞苑における夢の変遷を、第一版から第五版までたどってみますと、私たちが日常において、今よく使っている「将来実現したい願い」、「理想」という意味については、意外なことに1983年に発行された第3版に初めて登場していることが分かりました。

広辞苑で「夢」のつく単語を調べてみますと、約80個上がってまいりました。そのうち実は4分の1が、夢の吉凶に関するもの、占いに関するものでした。これは昔の日本人が夢によって吉凶を判断していた名残ではないかと見て取れます。不定確な未来の成り行きを読み解く手掛かりとして、夢が利用されていたといえるのではないのでしょうか。ちなみに、広辞苑の中に出てきた夢を含む単語は、すべてアンケートの上位を占めた未来の夢ではなくて、夜眠っている間に見る夢に関連するものがすべてだと分かりました。

広辞苑

第一版

ゆめ(夢) (イメ(寢目)の転) ①睡眠中にもつ非現実的な現象または幻覚。また覚醒中に起る同様の状態。多く視覚的の性質を帯びるが、聴覚・味覚・運動感覚に關係するものもある。日葡「ユメヲミル」ユメヲサマサス。②ぼんやりしたさま、はかないさま、頼みがたいさまなどという語。夢幻。宇津保俊盛「いのごとありしに」③まよい。迷夢。④極めて小さいこと。軽微なこと。日葡「ユメニモソクセヌ」

第二版

ゆめ(夢) (イメ(寢目)の転) ①睡眠中にもつ非現実的な現象または幻覚。また覚醒中に起る同様の状態。多く視覚的の性質を帯びるが、聴覚・味覚・運動感覚に關係するものもある。日葡「ユメヲミル」ユメヲサマサス。②ぼんやりしたさま、はかないさま、頼みがたいさまなどという語。夢幻。宇津保俊盛「いのごとありしに」③心のまよい。迷夢。

第三版

ゆめ(夢) (イメ(寢目)の転) ①睡眠中にもつ非現実的な現象または幻覚。多く視覚的の性質を帯びるが、聴覚・味覚・運動感覚に關係するものもある。古今ま「思ひつづ寝ればや人の見えつらむ」と知りせばさめざらましを。②はかない、頼みがたいものたえ。夢幻。古今ま「寝ても見ゆ寝でも見えけりおほかたはうつせみの世ぞ」にはありける。「いのごとありしに」③空想的な願望。心のまよい。迷夢。「いたすらに」を追う。④将来実現したい願望。理想。「海外雄飛が彼の」だ。「夢にも」

第四版

ゆめ(夢) (イメ(寢目)の転) ①睡眠中にもつ非現実的な現象または幻覚。多く視覚的の性質を帯びるが、聴覚・味覚・運動感覚に關係するものもある。古今ま「思ひつづ寝ればや人の見えつらむ」と知りせばさめざらましを。「いを見る」②はかない、頼みがたいものたえ。夢幻。古今ま「寝ても見ゆ寝でも見えけりおほかたはうつせみの世ぞ」にはありける。「いのごとありしに」③空想的な願望。心のまよい。迷夢。「いたすらに」を追う。④将来実現したい願望。理想。「海外雄飛が彼の」だ。「いを描く」夢にも

第五版

ゆめ(夢) (イメ(寢目)の転) ①睡眠中にもつ幻覚。ふつう目覚めた後に意識される。多く視覚的の性質を帯びるが、聴覚・味覚・運動感覚に關係するものもある。古今ま「思ひつづ寝ればや人の見えつらむ」と知りせばさめざらましを。「いを見る」②はかない、頼みがたいものたえ。夢幻。古今ま「寝ても見ゆ寝でも見えけりおほかたはうつせみの世ぞ」にはありける。「いのごとありしに」③空想的な願望。心のまよい。迷夢。「いたすらに」を追う。④将来実現したい願望。理想。「海外雄飛が彼の」だ。「いを描く」夢にも

夢の解釈

“夢”のつく名詞 (広辞苑第5版より)

夢判断・占夢・夢占・夢相・夢判じ・夢解き・瑞夢
 夢合せ・吉夢・凶夢・
 徒夢・怪夢・槐夢・客夢・旧夢・郷夢・虚夢・など

6.夢の移り変わり

このアンケートで集まった、夢から連想される単語は、併せて1319個ありました。同じ意味の単語を一つにまとめてみますと、411種類の単語が挙げられています。

「夢」という言葉について、私たちは日ごろ2種類の言葉を使い分けていました。一つは希望や未来などの将来の夢、一つは睡眠中の夢でした。

かつて、「夢」という言葉は、夜眠っている間に見る夢として使われ始めたにもかかわらず、現代日本では、夢という言葉から希望や未来など、将来実現したい願望、理想としての夢を連想する人が非常に多くいることが分かります。また、ここ10年間の新聞全国各紙に掲載された夢という言葉を見てみますと、95%以上が将来の夢という意味で使われていました。

夢の単語全体の中で、約12%の人たちが空や宇宙に関する言葉を挙げていました。19世紀から20世紀にかけて、科学の進歩への夢は現実となってきています。しかし、今私たちが迎えている21世紀は、もはやそういった科学の進歩への夢をみる時代が終わりを迎えているかのようです。

夢が連想された1319の言葉の中に、科学の進歩に関連した単語は、35歳男性が言った「タイムマシン」だけでした。飛行機や宇宙船、インターネットなどが存在しなかったころは、科学の夢は尽きなかったのかもしれませんが、今や科学技術は、明るい未来としての夢を呼び起こすに至らないようです。さて、私たちの「夢」はどこに向かっているのでしょうか。

睡眠文化研究所

(Reserch Institute on Sleep & Society)

URL : <http://www.riss.org> E-MAIL : riss@lofty.co.jp

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町11-5

TEL : 03-3663-7118 FAX : 03-3663-7189